**第１学年 生活科学習指導案**

石垣市立　宮良小学校 １年１組

男子６名　 女子６名 　計12名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　 授業者　　　　加　原　玲　子

１　小単元名「はなややさいとなかよし」　内容(7) 動植物の飼育・栽培

　 ２　小単元目標

　　　あさがおを育てる活動を通して、あさがおの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、あさがおに合った世話の仕方がある事や生命を持っている事、成長している事に気付き、あさがおへの親しみを持ち、植物を大切にしようとする事ができるようにする。

 ３　単元について

1. 教材観

　本単元は、学習指導要領の内容(3)「動植物の飼育・栽培」に基づいて構成している。あさがおの栽培を通して、植物の日々の成長や変化、実りが児童に生命の営みを実感させる。また、継続的に世話をし、繰り返し関わる過程で、生命あるものを大切にする心を育み、生命の尊さを実感できると考える。日々関わる中で出てくる「もっと元気に育ってほしい」等の願いを実現するために、土、水、日照、肥料といった植物の生育条件に目を向けるようにする。それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもつことで、自ら働きかけるようになり、予想して見通しを立てたり、あさがおの立場になって考えたりするようになると考える。

(2)児童観

本学級の児童は男女６名ずつでバランス良く、休み時間になると仲良く遊ぶ姿が見られる。本校に設置されている幼稚園からの入学は一人もなく、他園四か所からの児童である。学ぶ意欲があり、「早くお勉強したい」と、色々な事に興味関心も持っている。これまで育てたことがある植物を聞いてみると、保育園の時に育てたあさがおや、ひまわり等が印象に残っているようであった。また、祖父母と色々なやさいを育てたことがあるという児童も多く見られた。経験として見てはいるが人まかせの活動であったので「自分で決めて責任をもって育てる」事を通して、自ら働きかける力を育んでいきたい。

(3)指導観

本単元の指導にあたっては、児童の思いや願いを大切にしながら進めていけるように、児童の自己選択・自己決定の場と教師の適切な関与を意識した計画を立てる。さらに、合科的・関連的な指導を取り入れ、教科のつながりを持たせながらそれぞれの教科の目標が達成できるように、単元配列表を作成し、児童が意識できるように可視化を図りながら進めていく。

これらの点に留意することによって、学ぶ楽しさや達成感等が味わえ、自ら働きかける児童が育んでいく。

４　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 単元の　評価規準 | 動植物は生命をもっていることや成長していることに気付いている。 | 動植物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。 | 動植物への親しみをもち、大切にしようとしている。 |
| 小単元における　　　評価規準 | ①植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に気付いている。②育てている植物に合った世話の仕方があることに気付いている。③生き物への親しみが増し、上手に世話ができるようになったことに気付いている。 | ①植物の特徴などを意識しながら、育ててみたい植物を選んだり決めたりしている。②植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に着目して、観察したり世話をしたりしている。③育ててきた植物のことや心を寄せて世話をしてきたことなどを振り返り、表現している。 | ①よりよい成長を願って、繰り返し関わろうとしている。②植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に応じて、世話をしようとしている。③生き物に親しみや愛着をもったり、自分の関わりが増したことに自信をもったりしたことを実感し、生命あるものとして関わろうとしている。 |

５　指導計画

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 〇主な学習活動 　　数字は時数 | 評価規準★重点 | 評価方法 | ・他教科との関わり（育成を目指す資質・能力との関連） |
| 知 | 思 | 態 |
| **第一次（８時間）** | 〇育てた事がある植物について話し合い、活動への期待と見通しを持つ。〇あさがおについて話し合う。　　　　　①② |  | ①★ |  | 行動観察 | 道徳国語図工音楽算数 | ・「楽しい学校」の教材とあさがおのお世話をする嬉しさ・楽しさ関連づけて、学習意欲を養う。・経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたい事を書くことができる。・楽しく表現する活動に取り組み、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しもうとする態度を養う。・身近な生活場面から、ものの個数を数えたり、表したりしようとする態度を養う。・ものの個数を数えたり比べたりする活動を通して、数の大小や順序、数の構成について考える力を養う。 |
| 〇自分のたねを決めて、くわしく観察して書く。〇土づくりやたねまき、水まきの仕方が分かりたねまきへの見通しを持つ。〇まくたねの数を決めてたねをまく。〇マイペットボトルを作る。　　　　　　③～⑥ | ① | ★　　 |  | つぶやき記録行動 |
| 〇芽が出た様子を観察する。〇あさがおが育つ様子を見ながら、支柱立て、草とりなど、成長に応じた継続的な世話をする。　　　　　　　　　　　　　 　⑦⑧ | ①★ | ② | ① | 発言記録行動 |
| **第二次（８時間）** | 〇育ててきたあさがおが成長し、葉が増えたり、花をさかせたりすることを喜び、継続して世話をする。　　　　　　　　　　⑨⑩※検証（１） | ② | ② | ②★ | つぶやき記録行動 | 道徳国語算数図工音楽 | ・「うまれたてのいのち」の教材で、あさがおの芽が出たことを取り上げて想起させ、すべての生命あるものを大切にしようとする心情を育む。・経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたい事を書くことができる。・加法の意味について理解し、それらが用いられる場合について理解する。・長さの比較等の活動を通して、長さや測定についての基礎的な意味を理解する。・手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的に作ったり表したりすることができるようにする。・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しもうとする態度を養う。 |
| 〇育ててきたあさがおが成長し、きれいな花をたくさんさかせたりする事を喜び、継続して世話をする。　　　　　　　⑪～⑬※検証（２）（３） | ② | ②★ | ② | 発言記録行動 |
| 〇自分の育てたあさがおや、身の回りの花や実を使って、いろいろな遊びを工夫し、楽しむ。　　　　　　　　　　　　　　⑭～⑯ |  | ③★ | ③ | 発言行動作品 |
| **第三次（８時間）** | 〇春から育ててきたあさがおの観察を通して、秋の植物の変化に気付くとともに、成長を喜び、植物のつるでリースを作る。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑰～⑲ | ③ | ③ | ③★ | 発言行動作品 | 図工道徳算数国語音楽 | ・楽しく表現する活動に取り組み、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。・「ありがとう」の教材を通して、気付かない所でお世話をしてくれている人への感謝の心を持つ。・「かぼちゃのつる」の教材を通して、友達と仲良く活動する事の大切さを培う。・数のまとまりに着目し、数の比べ方や数え方を考える力を養う。・経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたい事を書くことができる。・音遊びを通して、音楽づくりの発想を得ることができる。 |
| 〇育ててきたあさがおのたねとりをして、新１年生にたねのプレゼント作りをする。　　　　　　　　　　⑳㉑ |  | ③★ | ③ | 発言記録 |
| 〇身の回りの生活の中から秋を見つけ、発表し合う活動を通して、季節の変化に関心をもち、進んで秋の活動にかかわる。　　　　　 ㉒～㉔ | ③ |  | ③★ | 発言記録 |

６　本時の指導　検証①（第９時/全24時間）

(1) ねらい

あさがおの葉、茎、つるなどをくわしく観察することを通して、それらのおもしろさや不思議

さに気付き、絵や文などで表現して伝えようとすることができる。

　 (2) 準備するもの

　　　あさがおの成長がわかる写真、むしめがね、紙コップ、ワークシート、ネームプレート、たん

　　けんバック

(3) 展 開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動、予想される児童の反応(〇) | 教師の支援（☆）と評価（■） | 評価の方法 |
| 導入 ５分 | １ これまでの観察の仕方を振り返り、　　 本時の学習について話し合う。　〇「朝きたら、目でみたよ」２ めあて**あさがおのひみつをみつけよう**３ かんさつの仕方を確認する。 〇「よくみえる」「たんてい」をつかう！」 | ☆自分のあさがおをもっとよく観察したいという思いを高めるため、これまでのあさがおの成長を振りかえらせる。☆日頃から諸感覚を使ったりしていい観察をしている子の取り組みを紹介する。☆「くわしく」観察するためには、どんこ所に目をむければいいか考えさせる。（葉の裏側やつるの向きなど⇒？マークを書く） | ・つぶやき・発言 |
| 展開　30分 | ４ 自分のあさがおを、くわしく観察する。　〇「葉っぱが、ザラザラしているよ」　〇「葉っぱの形がちがう」　〇「つるがくるくるしている」５ 観察して発見したことや気付いたことを３つ、ワークシートに書く。６ 道具の片づけをする。 | ☆ひみつを３つみつけることを知らせる。☆くわしく観察して発見した所をワークシートに書く。（文のみ）ひみつを３つみつけたよ。１つめは、、、、、２つめは、、、、、３つめは、、、、、☆書くときは、話型に沿って書かせる。「自ら働きかける力」を育むための子への対応（１）自分なりに進んで観察している子　　共感する言葉をかけ、新たな気付きを発見できるように促す。（２）うまく観察が進められず活動にとまどっている子　　友達と関わらせたり、一緒に観察し、新たな気付きとなるキーワードを伝え観察させる。（３）活動が早く終わった子　　やり遂げたことをほめるとともに、まだ気づいていない所はないか問いかける。 | ・行動・観察 |
| 終末10分 | ７ 観察して発見したこと、気付いたことを友達　　と伝え合う。８ 今日の学習を振り返り、「こうなってほしいな」と思う気持ちを話し合う。９ 次の時間（国語）に観察した絵を書いて、発表し合うことを知らせる。  | ☆おとなりの友達と、ワークシートを見ながら　　発見したことや気付いたことを伝え合わせる。■あさがおのくわしい観察の仕方が分かり、進んで観察をし、新たな発見や気付きをすることができる。 | ・発言・ワークシート |

(4) 評価

あさがおの葉、茎、つるなどをくわしく観察することを通して、それらのおもしろさや不思議

さに気付き、絵や文などで表現して伝えようとすることができる。

(5) 板書計画

**かんさつのしかた**

**はっけんしたよ**

**きづいたよ**

はなややさいとなかよし

**めあて**

**あさがおのひみつをみつけよう**



**・はっぱがザラザラしているよ**

**・はっぱのかたちがちがう**

**・つるがくるくるしている**



※育てているあさがおの写真

（成長の様子）

**よくみえる・**

**たんていをつかう**

**やくそく**

**こうなってほしいな**

本時の指導　検証②（第12時／全24時間）

(1) ねらい

　　　 五感を使ってあさがおを観察する活動を通して、あさがおの特徴、変化や成長の様子に興味・関心を持ち、これからも意欲的に観察や世話をしようと思う気持ちを持つことができる。

 (2) 準備するもの

　　　児童・・・自分が育てているあさがお、たんけんバック、ポンキーペンシル

　　　教師・・・あさがおの成長の様子が分かる写真、五感カード、ワークシート、虫めがね、紙コップ、キーボード

(3) 展 開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動、予想される児童の反応(〇) | 教師の支援（☆）と評価（■） | 評価の方法 |
| 導入 ８分 | １ これまでのあさがおの成長の様子を振り返り、あさがおクイズをする。〇「支柱を立てたら、つるがぐんぐんのびてきたね」〇「はっぱの形がちがうよ」 〇「はっぱはざらざらしていたよ」２ めあてを確認する。**あさがおのけんこうかんさつをしよう****うかんさつをしよう** | ☆自分のあさがおをもっとよく観察したいという思いを高めるために、あさがおのこれまでの成長の様子を振り返らせる。☆みんなで見つけた「あさがおのひみつ」からクイズを出し、学習意欲を持たせる。☆これまでの観察方法として「よくみえる」と「たんてい」を使っていることを確認する。 | ・つぶやき・発言 |
| 展開　２７分 | ３　観察の仕方を話し合う。　・けんこうかんさつをするためには、どんな観察をすればいいかを考える。　〇「みるだけじゃなく、さわってみる」４　観察する。　 ・観察の準備をする。　 ・ワークシートを選ぶ。　 ・あさがおを持ってきて観察する。　 ・ワークシートに気付いたことを書く。〇「はっぱと花は同じにおいだよ」〇「さわるとつるつるしている」 〇「水色のはながさいてうれしいな」５　片付ける。 ♪ひらいたひらいたの曲　　・あさがおをもどして席に着く。　　・探検バックからワークシートを外しておく、 | ☆朝の健康観察を想起させて考えさせる。☆観察する準備をさせる。（何が必要かを自分で考えて準備する）※自己決定☆観察カードを自分で選択させる。※自己選択☆五感を使ってあさがおの全体や花を観察させる。（みて、きいて、さわって、においをかいで、思ったこと・感じたこと等）※自己選択「自ら働きかける力」を育むための子への対応（１）自分なりに進んで観察している子　　共感する言葉をかけ、新たな気付きを発見できるように促す。（２）うまく観察が進められず活動にとまどっている子　　友達と関わらせたり、一緒に観察し、新たな気付きとなる言葉を伝え観察させる。（３）活動が早く終わった子　　やり遂げたことをほめるとともに、まだ気づいていない所はないか問いかける。　　 | ・行動・観察・ワークシート |
| 終末10分 | ６ 観察して気付いたことを紹介しあう。　　（ペア→全体）　〇「はっぱの後ろもざらざらしていたよ」７　活動して楽しかったこと、嬉しかったことを　　発表する。　〇「花がきれいにさいていてうれしかった」８　学習のまとめをする。**これからもけんこうかんさつをしながらおせわをがんばろう。** | ☆五感の視点で観察して気付いたことを出しあって共有する。☆他教科での学習を生かしている子がいたら称賛する。☆これからのあさがおの栽培意欲を高めるために、今後の自分の世話の仕方について考えさせる。■植物の特徴、育つ場所、変化や成長の様子に着目して、観察したり世話をしたりしている。 | ・発言・観察 |

(4) 評価

　　　　五感を使ってあさがおの花を観察する活動を通して、あさがおの特徴、変化や成長の様子に興

味・関心を持ち、これからも意欲的に観察や世話をしようと思う気持ちを持つことができたか

(5) 板書計画

**めあて**

**はなややさいとなかよし**

**はっけん！**

**きづいたよ**

**あさがおのけんこうかんさつをしよう**



**まとめ**

**これからもけんこうかんさつをしながらおせわをがんばっていこう**

**たんてい**

**よくみえる**

**かんさつのしかた**

**成長のようす**